

【取組の概要】

山中湖村内全域（家庭内を除く）において、景観を阻害していると思われる不要物（流木、廃船、鉄くず、廃車両等）の処理と合わせて著しく美観風致を害している屋外広告物の撤去を行った。

この事業の趣旨に賛同した建設事業所・民間事業所の従業員がボランティアとして参加し、また、地元漁協や観光船協会などの協力も得て事業を展開した。

【体制】

◆事業主体 山中湖村

◆事業共催団体 山中湖村の観光地を美しくする会



【取組内容】

1 きっかけ(経緯)

古くなった廃看板などで街並みや湖畔の景観が阻害されている。



2 取組(実施内容)

事前に調査した廃看板を重機など使用し、撤去・回収している。



3 取り組みの成果・効果

作業終了後のきれいになった湖畔。



[1] 取組経緯

「山中湖クリーンアップ作戦」を実施

- ・ 村民一人ひとりの美観意識を高めるため企画
- ・ 世界文化遺産の構成資産保護の弾みとして実施
- ・ 地域住民が世界に誇れる「山中湖」を目指した「環境美化宣言」を採択

○第1回山中湖クリーンアップ作戦（H23.12月）

- 湖に放置されている流木、廃船、鉄くず、廃タイヤなどの処理回収
- 湖畔、道路沿いに散乱している燃えるごみ、燃えないごみの回収
- 景観を阻害している倉庫代用の廃車両、自転車の回収

○第2回山中湖クリーンアップ作戦（H24.6月）

○第3回山中湖クリーンアップ作戦（H25.6月）

- 第1回の内容の他、景観を阻害している廃看板等不要物の撤去

[2] 工夫した点

- 広範囲において看板以外の景観阻害物件を除却したことにより目に見えた成果が得られた。
- 建設事業者がオペレータ付きで重機を提供してくれたので、通常困難である作業もスムーズに行うことができた。
- 継続事業と合わせて実施したことにより新たな経費計上が不要であった。

[3] 取組効果

- ・ 取組の結果や周辺への波及効果など
- 富士山世界文化遺産の構成資産保護、また、景観行政団体の位置づけを再確認し、更に景観を阻害している観光地の現状を見直すことを村民へ意識づけできた。
- 水域だけでなく、村内全域が対象範囲であるため、より一層山中湖の景観が美しくなった。著しく美観風致を害している屋外広告物がより目立つようになり、改善のきっかけとなった。

[4] 取組の今後の展開及び課題

- ・ ここ数年の成果もあり、ゴミ処理量は着実に減少傾向にある。今後の開催や規模の縮小等も含めて検討する必要がある。
- ・ 今までは廃ボートの処理に対して村から補助金を出していたが、年々廃ボート数が減少しているため、今後も補助を続けるかどうか検討する必要がある。

[5] 事業費、財源とした補助事業等

- ・ 山中湖村からの委託料として330万円。